

日本分析化学会九州支部 2009 年度 第 1 回常任幹事会 議事録

日時:2009 年 6 月 27 日(土) 14:00-16:30

会場;九州大学 農学部4号館 610 号室

参加者:下田満哉(九大院農・支部長)、井上高教(大分大・副支部長)、横下正彦((株)キューサイ分析研究所・副支部長)、梅林泰宏(九大院理)、大浦博樹(九産大工)、甲斐雅亮(長崎大医歯薬学)、片山佳樹(九大院工)、財津潔(九大院薬)、城昭典(熊本大工)、能田均(福大薬)、原田明(九大院総理工・Anal. Sci.誌編集委)、肥後盛秀(鹿児島大工)、松田直樹(産総研)、吉永鐵太郎(九州共立大)、竹中繁織(九工大・ぶんせき編集委)、富安卓滋(鹿児島大理・分析化学編集委)、井倉則之(九大院農・庶務幹事)、野間誠司(九大院農・会計幹事) (敬称略)

1 報告

(1) 本部・支部連絡会議報告

下田支部長より、まず本年度の事業計画について報告があった。次いで、本部・支部連絡会議に関して今坂先生(九大院工)に代理出席を依頼した旨、本部の財政が悪化しており、支部交付金が約 30%減額されるなどの説明があった。支部交付金の減額に関しては11月までに支部運営が可能か方針を本部に報告する必要があるため、11月開催予定の幹事会までに検討が必要との報告があった。本件については議案(その他)でも検討を行なった(下記参照)。

(2) 理事会報告

片山理事より過去2回の理事会(4月17日・本部、6月19日・本部)に関する報告があった。年会・討論会の予定(2012年に九州支部で討論会開催予定)、会員数減少、広告費収入減少等による財政悪化(年間約3000万円の赤字)、会費滞納者の問題、学会賞、奨励賞、功労賞等の受賞者について(九州支部より田端正明氏、宗伸明氏)、会長構想への対応について(I各支部に下部組織創設、海外支部の創設、人生談話会創設)、公益法人化への移行についてなどが説明された。

(3) 九州分析化学若手の会

下田支部長より第22回若手の会春の講演会(5月23日(土)・九大馬出キャンパス、世話人:浜瀬健司氏(九大院薬))の開催報告および会計報告、並びに、第27回九州分析化学夏季セミナー(7月30日(木)、31日(金)・宮崎観光ホテル、世話人:大島達也氏(宮崎大工))の案内について報告があった。

(4) 分析化学講習会

下田支部長より第50回分析化学講習会(8月5日(水)-7日(金)・第一薬科大)の案内がなされた。なお、実行委員長は下田(九大院農)だが空調設備の

不足により第一薬科大で行なうことについて説明があった。また、昨年まで原子スペクトル分析法のコースが機器提供会社の撤退により原子・分子スペクトル分析法に変更したことについて説明があった。

(5) 各誌編集委員会

Anal. Sci.誌について原田幹事(編集委員)より報告された。投稿システムが電子化された件、投稿数が減少している件(ただし Anal. Sci.誌のIF値は他誌と比較して高い)、印刷会社を変更した件、2重投稿など不正投稿に関する注意喚起について報告がなされた。

ぶんせき誌について竹中幹事(編集委員)より報告された。次年度の表紙のデザイン(写真)の募集、特集の題材募集、「トピックス」の原稿を書いて頂ける若手研究者募集があり、竹中編集委員まで推薦して欲しい旨報告された。

分析化学誌について富安幹事(編集委員)より報告された。現在 J-STAGE にて公表しており、その閲覧件数について報告があった。また、58巻10号11号の掲載論文数が不足する可能性があるため、早急な投稿の依頼があった。

(6) その他

下田支部長より、第57年会からの九州支部への譲渡金100万円の使用について、平成20年度の執行部より提出されていた2008年度の会計最終報告及び2009年度予算案通り、若手の会30周年記念事業基金として50万円、第72回分析化学討論会準備基金として40万円、支部予備費として10万円を準備した旨報告があった。なお、これらの基金設立については11月開催の幹事会で追認予定である。

2 議案

(1) 支部役員の変更

田端正明氏(佐賀大学)の退職に伴う幹事から参与への変更が承認された。小嶋誠氏(和光純薬)から山口英敬氏(和光純薬)、盛田昭夫氏(日立ハイテクノロジーズ)から轟木一義氏(日立ハイテクノロジーズ)、大久保宗隆氏(京都電子工業)から田口博幸氏(京都電子工業)への幹事の変更(3名)が承認された。

安田みどり氏(西九州大学健康福祉学部)の幹事への推薦(田端正明氏)が承認された。

兼島清氏(逝去)、木原壯林氏(他支部へ移動)、廣中博見氏(退職)の幹事退任が承認された。

(2) 九州分析化学会賞及び奨励賞

下田支部長より選考委員会(5月30日(土)・九大農 4-108 会議室)に関する報告の後、片山選考委員会委員長より選考過程について報告。九州分析化学

会賞に山口敏男氏(福岡大理)が、九州分析化学奨励賞に田中真由美氏(九大院工)、Sameh Abdel-Raouf Ahmed 氏(長崎大医歯薬学)、山崎信哉氏(九大院理)の3名の受賞が承認された。

(3) 第46回化学関連支部合同九州大会

井倉幹事(第46回化学関連支部合同九州大会代表世話人)より、準備状況が報告され、プログラム、ポスター賞表彰について確認され、ポスター賞審査委員が承認された。

(4) 支部幹事会・講演会・見学会

下田支部長より準備状況(11月・九大箱崎キャンパス、キューサイ分析研究所およびキューサイ)が報告され、承認された。

(5) 機器分析ワークショップ

下田支部長より準備状況(11月・九大箱崎キャンパス創造パビリオン)について報告され、承認された。

(6) 支部ニュース

井上副支部長より支部ニュースの発行内容について報告され、今後の予定が承認された。また、竹中幹事よりPDFファイルにして電子メールでの発送が可能かの質問が出されたが、個人情報等の点から今回は見送ることとした。ただし、支部ニュースを九州支部のホームページに掲載していくことが承認された。

(7) その他

・共催・協賛事業

下田支部長より、第16回クロマトグラフィーシンポジウムの共催および外国人講演会について報告され、承認された。

・分析化学講習会第50回記念事業

下田支部長より、分析化学講習会第50回記念事業を開催することについて報告され、承認された。

・機器分析入門の増刷について

下田支部長より機器分析入門の第6刷が増刷されたことが報告された。

・分析化学討論会

下田支部長より2012年に分析化学討論会が九州支部で行なわれること、開催地が鹿児島大学、世話人が肥後盛秀幹事(鹿児島大工)となる予定であることが説明され、肥後幹事より挨拶があった。本件については11月の幹事会で承認予定であることが説明された。

・支部交付金の減額について

下田支部長より本部・支部連絡会議、理事会報告でも報告があった通り、平成22年度から支部交付金が減額(平成20年度実績174万円が124万円に減額)される予定であることが説明された。現在の支部支出中減額可能な費目

について幾つか検討がされた(若手の会への補助金減額、支部ニュース発行をメーカーと協力する、支部ニュースに広告を掲載する)。しかし、現在支部で行なっている活動を縮小することは会員減にも繋がる危険性があることが話された。また本部収支についても、本部でどのような費目が縮小される予定なのか(支部もその費目について検討を行なう)、一時的な不況によるものか(おそらく会員数減、広告費減収によると考えられる)、永年会員からの会費徴収について、標準物質事業の収入減(補助金収入が終了)、公益会員の減少、学会としての魅力を出す為の抜本的な改革(WGの立ち上げ)が必要等についても検討された。

本件に関しては本部への報告に向けて、11月開催の幹事会において数値概算を出す必要があるため、各幹事で修正案等あれば執行部まで知らせて欲しい旨、下田支部長より依頼があった。

以上